

製品名: カスパーゼ 11 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe01761

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1.21mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 43 kDa; Observed MW: 43,38,25 kDa

抗原情報

遺伝子名	Casp4
別名	CaspI; ich-3; CASP-4; Casp11; CASP-11
遺伝子 ID	12363.0
SwissProt ID	P70343
免疫原	マウスカスパーゼ 11 の組み換えタンパク質

背景

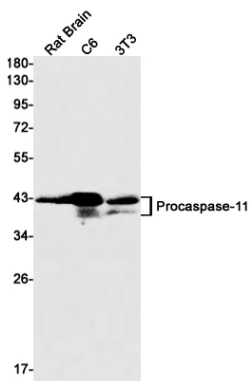
炎症誘発性カスパーゼ。UVB 照射、コレラ毒素サブユニット B、細胞質 LPS、グラム陰性菌感染などの非典型的な活性化因子に対す

る応答として、NLRP3 インフラマソーム依存性 CASP1 活性化、IL1B および IL18 分泌の必須エフェクターである。NLRP3 インフラマソームおよび CASP1 とは独立して、非典型的なインフラマソーム活性化因子に対する応答として、GSDMD の切断および活性化、ならびに IL1A、IL18、HMGB1 の放出を介してピロプトーシスを促進する。

研究分野

細胞生物学

画像データ



Caspase 11 抗体を使用した C6、3T3、Hela 溶解物中の Caspase 11 のウェスタンブロット分析。